

なますて

平成21年12月1日刊

住職あいさつ

師走となり、今年も残り少なくなって参りました。皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。

さて、この度、光林寺の寺報を発行することとなりました。檀家の皆様とお寺とのパイプ役となれば幸いです。手作りの粗末なものではありますが、皆様へのお知らせや、簡単な仏教のお話など、楽しくお伝えてできればと思います。今後、少しずつではありますが内容を充実させていければと思いますので、ご意見やご感想、ご質問などお寄せいただければと思います。

タイトルにあります、『なますて』とはインドのあいさつです。インドでは“おはよう”も“こんにちは”もみな、「ナマステ！」と言って手を合わせます。『南無』はこの「ナマステ」から出たものともいわれています。仏様やご先祖様へのあいさつのつもりで『南無阿弥陀仏』とお称えいただきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願い致します。

合掌

除夜の鐘 & 初詣

光林寺では大晦日の23:55頃から0:30頃までにお参りいただいた皆様に除夜の鐘をついていただいています。暖かくしてお参り下さい。

また、ご希望の方には御札(阿弥陀如来、熊野権現)をお授けしております。(志納¥2~3,000)

新年はまず、菩提寺と御先祖様にお参り下さい。

春季・秋季開山忌

開山忌は宗祖一遍上人と開山宿阿上人の御遺徳を偲ぶと共に、檀徒の皆様のご先祖供養を行うとても大事な法要です。この法要は県内の時宗寺院のお坊さんによって荘厳に執り行われます。

また、当番地区の檀家さんが作った精進料理の振る舞いもごさいます。

どうぞ、ご家族でお参り下さい。

春季：毎年 4月23日(春分の日)

秋季：毎年 11月23日(勤労感謝の日)

てらこや合宿

昔の寺子屋は楽しい教育の場であり、境内は子供たちの遊びの場でもありました。

『子供たちの元気な姿を再び!』ということで、小学生を対象にして約三十年続けています。

今年は、『絵てがみ』と『手打ちうどん』に挑戦しました。その他にも、『伝承あそび』や『肝試し』、『ウォークラリー』に『竹箸作り』と盛りだくさんです。

きっと、日常とは一味違った体験ができることと思います。

詳しくはお寺までお問い合わせ下さい。

※毎年8月第1土・日 開催予定

※中学生以上の方のボランティアも歓迎。

光林寺のイベント

光林寺寄席

去る、7月5日に光林寺寄席が開催されました。光林寺寄席は仏事以外の時にも、気軽にお寺へ足を運んでもらう為、昭和58年に永六輔さんの紹介で始まりました。

第44回を迎えた今年は入船亭扇遊師匠をお迎えし、盛況のうちに終えることが出来ました。

来年も6～7月に開催を予定しております。どうぞ、ご家族お誘い合わせの上、御来山ください。



入船亭扇遊

讃佛歌

(御詠歌・和讃)

光林寺では昭和24年から六十年にわたって大和流で讃佛歌の奉詠を行っております。名僧と讃えられた方々が仏法(仏の教え)を歌や詩にして、わかりやすく残しておられます。それらに節をつけ、お唱えするのが讃佛歌(御詠歌・和讃)であります。

開山忌法要を始め、お亡くなりになった方々のご供養、さらには、ご自身の修行、認知症予防のためにも是非お勧めする次第です。ご希望の方はお寺までお申し込み下さい。お待ちしております。

合掌

Q and A

Q. 光林寺は何宗ですか？

A. 光林寺の宗派は『時宗』(じしゅう)といいます。
時宗は鎌倉時代に興った六宗のひとつで一遍上人によって開かれました。鎌倉六宗のなかでは法然上人の『浄土宗』、親鸞上人の『浄土真宗』が同じお念仏の系統です。

時宗はかつて『時衆』と呼ばれていました。これは、かつて一日を六時(日没、初夜、中夜、後夜、晨朝、日中)に区切って、その都度お経をお唱えしていたことに由来します。衆は“集団”という意味です。

また、『踊り念仏』も有名で、盆踊りの発祥とも言われています。

そして、忘れてはならないのが『遊行』と『賦算』です。
一遍上人は全国を遊行され、各地でお念仏の御札を配られました。歴代の御上人は『遊行上人』と呼ばれ、現代でも全国を遊行され、数多くの人々に御札を配り続けておられます。

ルンビニーコーナー

ルンビニーの皆さんは花苗やシクラメン、原木シイタケの栽培に取り組んでいます。

また、るんびに美術館では絵を描いたり、織物をしています。

ベーカリー『ちゃい』や菓子工房『夢舎 夢舎』のパンやお菓子もとてもおいしいです。

どうぞ、みなさんご利用ください。

編集後記

最後までお読み下さり、ありがとうございました。

『なますて』は年2回の発行を予定しております。

今後ともよろしくお願ひ致します。 令掌